

---

すずむし

SUZUMUSHI

Vol. 5 No. 6

1955年 6月

倉敷昆虫同好会

## 目 次

- ◎ 西大寺近隣に於ける蝶の初見日 ----- 赤枝一弘(1)
- ◎ おとしぶみ
  - 鶴形山にオオシロカミキリ ----- 小野 洋(2)
  - 矢の峯のホシヤバネセセリ ----- 小野 洋(2)
  - 倉敷のクロクモスナ ----- 小野 洋(3)
  - タカワゴシロカミキリに就て ----- 近藤光彦(3)
- ◎ 西大寺近隣産蝶 3 ----- 赤枝一弘(3)

## 西大寺近隣に於ける

## 蝶の初見日

赤 枝 一 弘

蝶の初見日を少数ではあるが記録しているので広瀬氏の報文を参考にして、  
わすかではあるが速いと思うものだけをスラんで記す。わすかでも参考になれば幸いである。

1)	イチモンジセセリ		5(月)26(日)	1954(年)
2)	ホソバセセリ	蛸干山	7. 1	1953
3)	アオスジアゲハ		4. 24	1954
4)	クロアゲハ		4. 19	1954
5)	アゲハ		4. 1	1954
6)	ジヤコウアゲハ	釜山	4. 30	1952

現在全々記録のない種なので参考として記す。

7)	モンキチョウ	向州	3. 17	1955
8)	モンシロチョウ		2. 28	1955
9)	ムラサキシジミ		6. 10	1953

無論オニ化である。

10)	ベニシジミ		3. 17	1955
11)	ルリシジミ		3. 25	1954
12)	ツバナシジミ		3. 25	1954
13)	コムスジ		4. 23	1954
14)	ホシミスジ		5. 27	1955

本種はよく気をつけているが倉敷5, 18に遠く及ばない。1954年  
度は5, 28日である

15)	ヒナアカタテハ		6. 8	1954
16)	イチモンジチョウ	竜の口	5. 23	1954
17)	ヒナウラナミシヤノナ		4. 25	1954

2 (22)

18)	ジヤノナチヨウ		6. 27	1953
19)	ヒカケチヨウ		6. 5	1954
20)	キマツラヒカケ		4. 23	1954
21)	ヒナジヤノナ		5. 23	1954
22)	コミヤノナ	芥子山	5 5	1953

以上年がばらばらなので参考価値は低いと思うが一人ではこれがせいじつばい  
目撃地の書いてない場所は市内カ金山のいすれかと思つてくださればまちがい  
ない。



鶴形山にオオ  
シロカミキリ

現在近に40種足らずのカミキリムシが、鶴形山から記録されているが  
本年更に *Olenecamptus cretaceus cretaceus* BATES オオシロカミキリの記録  
を知ったので報告する。

鶴形山 1955.7.10 熊丸淳三氏  
なお、これで市内からは *Olen-*

*ecamptus* 属の種はタカワゴシ  
ロカミキリと? 種が記録されたわけ  
である (小野 洋)

矢の峯のホシチ  
ヤバネセセリ

本年7月31日新見市と市町の矢の  
峯(約900m)に迷った。午後下山  
の際葉上に静止している *Aerom-  
achus inachus* MENE-  
TRIES ホシチヤバネセセリを発  
見直ちに網に入れたが、突然の強い  
風で網を裏返され、不手際で逃がし  
てしまったので目撃のみに止つたが  
一応報告しておく。本種は中部山岳  
以外では稀で、中国山系では氷の山

段ヶ峰、伯耆大山などに多産することが知られている。(小野 洋)

## 倉敷のクロワ モスズナ

本年7月中旬、倉敷市旭町の自宅で火に燃えた *Acosmeryx castaneana* ROTH-SCHILD et JORDAN クロワモスズナを捕獲した。エンスズナに続いて15番目の種として報告しておく。(小野 洋)

## タカサゴシロカ ミキリに就て

此々に記すのは筆者の小さい頃常に目撃し採集(と云つても昆虫採集としてではない)していた俗稱小さなカミキリ、と呼ばれていたものが、タカサゴシロカミキリであったこと、その印象的な長い触角、小さく白い体、当地倉敷市住吉野農研は戦後の不景気で、現在ではその樹までなくなり、と共に本種の姿も見られなくなった

様である。当時の標本もなく結局目撃したことになり、本種はその頃(1944年)すでにいたことお知らせしておきます。(近藤 光宏)



## 西大寺近隣産蝶3 赤枝一弘

本年度ほとんど調査らしい調査はやっていないが、それでも少数の追加事項が出来たので3報として発表する。

### 11 ツマグロキチョウ

1954. 9. 24, 蛸干山に於て一頭、蛸干に於ける最初西大寺に於ける三頭目の記録。

### 48 イケモンジチョウ

竜の口西部丘陵に続いて蛸干山で一頭さらに西高校生に於て一頭少数ではあるが全般的に産することがわかった。特に竜の口に於ては少ない。

### 51 ウラギンシジミ

蛸干山、釜山、市内に於ても少いが秋にはあんがい見られる。

## 4(24)

### 追加種

- 52 *Zizina otis* FABRICIUS シルビアシジミ  
おとしぶみに発表したように蛸干山で採集，その後向州に少数，市内堤防に於て目撃，さらに本年6月竜の口でも採集した。
- 53 *Limenitis glorifica* FRUHSTORFER アサマイチモンダ  
竜の口，蛸干山に少数産す。
- 54 *Faonius orientalis* MURRAY オオミドリ  
1955, 6, 12 蛸干山に於て1♀採集。
- 55 *Thymelicus sylvaticus* BREMER ヘリグロチヤバネネセセリ  
1955, 6, 23 竜の口に於て多数採集，キマダラも居たが本種の方がずっと多かった。
- 56 *Japonica lutea* Hewitson アカシジミ  
1955, 6, 23 竜の口に於て一頭目撃 なお6月23日竜の口に於てヒョウモンウモン(多分ミドリ)を見たが確認出来なくて残念だった，ヒョウモンの追加は出来ず，セファイルスの方をゆずか二頭は残念に思う。最後にいつもながら御世話になった小野孝氏と広瀬義邦氏に感謝いたします。

(1955, 7, 18)

---

### 編集後記

いつもながら発行が遅れましたこと，又都合により今回からガリバン印刷になりましたこと重々お詫言いたします。

すずむし 第5巻 第6号 昭和30年 6月30日印刷  
昭和30年 6月30日発行

編集者 倉敷市住吉町 岡山大学農業生物研究所  
発行所 害虫学研究室内

倉敷昆虫同好會